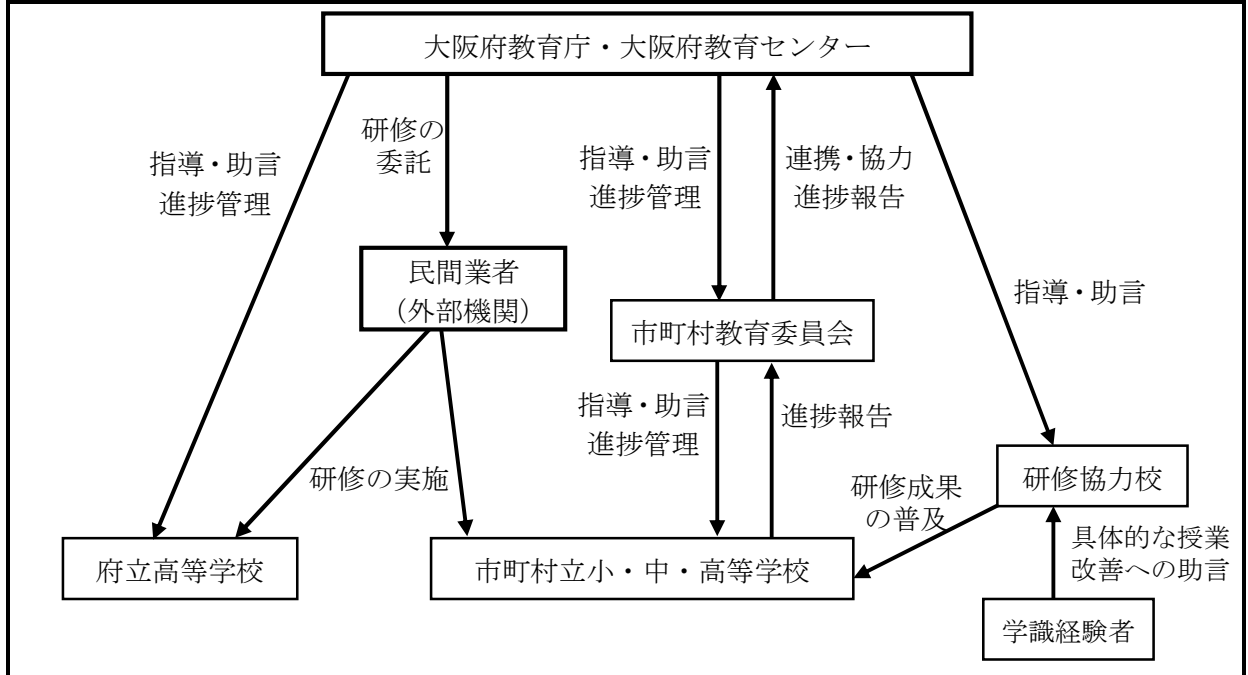


# 大阪府英語教育改善プラン

1. 実施内容

(1) 研修体制の概要



(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

I. 大阪府の現状

①求められる英語力を有する英語担当教員の全英語担当教員に占める割合

	H27
中学校	27.8%
高等学校	47.7%

②求められる英語力を有する生徒の全生徒に占める割合(中3、高3)

	H27
中学校	28.9%
高等学校	31.2%

③「CAN-DO リスト」の形式で技能別に設定した学習到達目標の整備状況

・設定

	H27
中学校	30.2%
高等学校	8.5%

・公表

	H27
中学校	8.2%
高等学校	1.9%

・達成状況の把握

	H27
中学校	19.4%
高等学校	3.8%

④授業における、生徒の英語による言語活動時間の占める割合

	H27
中学校	48.7%
高等学校	35.5%

⑤「話すこと」及び「書くこと」における「外国語表現の能力」を評価するためのスピーキングテスト、ライティングテスト等のパフォーマンステストの実施状況

## ・スピーキングテスト

		H27
中学校		9. 3回
高等学校	コミュニケーション英語Ⅰ	2. 3回
	コミュニケーション英語Ⅱ	2. 4回
	コミュニケーション英語Ⅲ	1. 1回
	英語表現Ⅰ	2. 9回
	英語表現Ⅱ	2. 1回

## ・ライティングテスト

		H27
中学校		7. 7回
高等学校	コミュニケーション英語Ⅰ	0. 6回
	コミュニケーション英語Ⅱ	0. 7回
	コミュニケーション英語Ⅲ	1. 7回
	英語表現Ⅰ	0. 8回
	英語表現Ⅱ	2. 1回

## ⑥授業における、英語担当教員の英語使用状況

	H27
中学校	33. 5%
高等学校	23. 5%

※平成29年度の各項目の目標（様式10目標管理書参照）の達成に向けて、下記のようなてだてを講ずる。

## Ⅱ. 目標達成までの具体的なてだて

## Ⅱ-1 中学校

大阪府教育庁（以下、教育庁という）と市町村教育委員会（以下、市町村教委という）が連携して研修体制を構築することにより、府内中学校の英語の授業を改善し、生徒の英語力を着実に向上させる。

## ➤ 教育庁と市町村教委の連携による取組み

- ・前項Ⅰにある指標に基づき、市町村教委が目標を設定するとともに、目標を達成するための具体的な方策「英語教育改善計画」を作成する。教育庁は計画に基づき、市町村教委の進捗について確認・指導を行う。
- ・市町村教委は、英語教育を推進する教員（授業改善推進リーダー）を推薦し、教育庁主催の研修を受講させる。研修実施期間中は、研修受講者の授業参観をするなどして授業改善の進捗を把握する。必要に応じて指導・助言する。
- ・市町村教委主催の研修受講者による普及研修を実施し、所管の中学校の授業改善を進める。

## ➤ 民間業者と連携した「授業改善推進リーダー研修」の実施

- ・教育庁は民間業者に委託した年間5回の連続研修を実施し、生徒のスピーキング力向上のための教員の指導力を育成する。

## ➤ 研修協力校の取組みの普及

- ・研修協力校の英語担当教員1名は、教育庁主催の授業改善推進リーダー研修を受講する。
- ・受講内容を校内で共有するとともに、学識経験者の助言を得て実践研究を行うなど、組織的に授業改善を推進するモデル校となる。
- ・授業公開を行い、校内での授業改善の取組みについて府内に発信する。

## Ⅱ－２ 高等学校

生徒が高等学校卒業時に生涯にわたり 4 技能を積極的に使えるようになる英語力を身に付けられるよう、連続研修を実施し、次世代の英語教育を推進するリーダー教員を育成することにより、府内高等学校の生徒の英語力を向上させる。

### ▶ 「英語教育推進リーダー」養成研修の実施

- ・教育庁は、民間業者に委託した夏季集中研修を含む年間 5 回の連続研修を実施し、府内の次世代の英語教育を推進するリーダー教員を育成する。
- ・5 年間で全高等学校からリーダー教員 1 名が受講する。
- ・受講者は、研修で学んだ内容を含んだ公開研究授業を実施するなどして自校での実践に生かし、各校での普及を図る。

### (3) 研修の体系と内容の具体

#### 1. 中学校

##### (1) 授業改善推進リーダー研修

目的 英語の 4 技能の内、生徒のスピーキング力を育成する教員の指導力の向上を図る。

対象 府内各市町村より推薦された英語担当教員（各市町村 2 名程度）及び英語教育担当指導主事（第 1・5 回のみ）

内容 全 5 回＋普及研修

第 1 回 研修受講者の目標設定と達成までのプロセス立案

第 2 回 スピーキング力を育成する授業実践と評価①（民間業者による研修）

第 3 回 スピーキング力を育成する授業実践と評価②（民間業者による研修）

第 4 回 スピーキング力を育成する授業実践と評価③（民間業者による研修）

第 5 回 研修後の授業分析、研修のまとめ、普及研修の立案

研修後 各市町村で、本研修受講者を講師とした普及研修を実施し、全中学校での授業改善をめざす。

##### (2) 授業づくり実践研修

目的 生徒の 4 技能を総合的に育成するために必要な基礎的な指導力の向上を図る。

対象 経験年数の少ない英語担当教員

内容 全 3 回

英語の授業づくりに必要な基礎基本の指導技術についての習得

#### 2. 高等学校

##### (1) 英語教育推進リーダー養成研修

目的 4 技能を積極的に使えるような英語力を育成するため、指導の改善・充実を図る指導法を習得し、次世代の英語教育を推進するリーダー教員を育成する。

対象 各校から推薦された教職経験 4～10 年目程度の英語担当教員

内容 全 5 回＋公開授業の実施

第 1 回 今、求められる英語の授業について

第 2～4 回 英語力を伸ばす授業実践（民間業者による夏季休業中の集中研修）

※各校での授業実践及び公開授業の実施

第 5 回 次年度に向けて（振り返り）

##### (2) 「TOEFL iBT」スコアアップセミナー

目的 高度な英語力を有する教員や学識経験者を講師として招聘し、グローバル社会に通用する高度な英語によるコミュニケーション能力の育成に向けた 4 技能の統合的な指導法を学ぶ。

対象 府の英語教育に関する指定を受けている高等学校の英語担当教員等

内容 全 5 回

第 1～4 回 TOEFL iBT セクション別攻略法

第5回 研修の振り返りとまとめ

3. 小学校

(1) 教育庁作成「公立小学校英語学習6カ年プログラム『DREAM』」活用支援研修

目的 「DREAM」を用いた効果的な指導法の習得を図る。

対象 「DREAM」導入校及び導入を予定している小学校の教員

内容 全4回

指導シナリオを用いた講義、ワークショップ

(2) 「外国語活動」スキルアップ研修

目的 外国語活動で用いられる教室英語や、英語の音声と綴りの関連性に着目した学習法等、英語音声指導法の基礎を学ぶ。

対象 経験年数の少ない小学校教員

内容 全3回

外国語活動で使用する教室英語・英語の音声と綴りの関連性に着目した指導法の習得

(3) 「外国語活動」授業づくり実践研修

目的 外国語活動の具体的な活動例について、基礎的指導技術の習得を図る。

対象 初めて外国語活動を担当する小学校教員

内容 全4回

外国語活動の基本的な指導方法の習得、模擬授業及び研究協議

(4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月	○公立小学校英語学習6カ年プログラム「DREAM」活用支援研修①② ○市町村英語教育担当指導主事会（英語教育改善計画の提出）	
5月	○高等学校英語教育推進リーダー養成研修① ○高等学校「TOEFL iBT」スコアアップセミナー①	
6月	○高等学校「TOEFL iBT」スコアアップセミナー② ○中学校授業改善推進リーダー研修① ○小学校「外国語活動」授業づくり実践研修①② ○小学校「外国語活動」スキルアップ研修①②③	
7月	○高等学校「TOEFL iBT」スコアアップセミナー③ ○中学校授業改善推進リーダー研修② ○小学校「外国語活動」授業づくり実践研修③④	ブリティッシュカウンシル
8月	○高等学校英語教育推進リーダー養成研修②③④ ○中学校授業改善推進リーダー研修③ ○中学校授業づくり実践研修①②③ ○公立小学校英語学習6カ年プログラム「DREAM」活用支援研修③④	ブリティッシュカウンシル
9月	○高等学校「TOEFL iBT」スコアアップセミナー④ ○市町村英語教育担当指導主事会（英語教育改善計画の進捗交流）	
10月	○高等学校「TOEFL iBT」スコアアップセミナー⑤	

各校での授業実践・普及

大阪府教育委員会

1 1月	○中学校授業改善推進リーダー研修④ ○研修協力校による公開研究授業	ブリティッシュカウンシル
1 2月		
1月	○中学校授業改善推進リーダー研修⑤	
2月	○高等学校英語教育推進リーダー養成研修⑤ ○市町村英語教育担当指導主事会（英語教育改善計画の報告）	
3月		
【その他の取組】		

※堺市は除く

